

## 2015 年度支援報告

### 1. 定期・定額支援



バオバブの会の支援金が届くと、各学校では、教員、生徒、父母会（PTA）、村の人々の代表で構成される学校運営委員会を開き、支援金の使い方を決めます。

左の写真は、2015年11月28日にジャウ・マリック小学校で開かれた学校運営委員会の様子です。

(1) 2015年度を中心課題は「定期支援のあり方を見直す」でした。

① 支援先の自助努力を促し、自立への道を開く。

② できるだけ多くの学校・グループを支援していく。の2点を目的として、

支援年数3年間を目安に、支援額を段階的に減額（小学校 50,000 円→40,000 円 中学校 100,000 円→80,000 円 他）していくことになりました。

(2) 2012年度以前から支援していて、支援開始後3年以上経過の学校・グループに、減額して送金しました。

|              |          |
|--------------|----------|
| サルム・ジャネ小学校   | 40,000 円 |
| サーバシ・チャム小学校  | 40,000 円 |
| ンジャゴ小学校      | 40,000 円 |
| クール・マジヤベル小学校 | 40,000 円 |
| ンジャウ・マリック小学校 | 40,000 円 |
| サルム・ジャネ中学校   | 80,000 円 |

注：障がい児を支援する教師の会（ジャロさんグループ）もこれにあたるので減額の予定でしたが、2014年度の支援金を都合により使っていなかったということでしたので、それを2015年度分にあててもらおうこととし、送金しませんでした。

(3) 支援開始後3年未満の学校・グループに、昨年度と同額の支援金を送りました。

|                        |          |
|------------------------|----------|
| バンブガール・マサンバ小学校         | 50,000 円 |
| ンガティ・ナウデ小学校            | 50,000 円 |
| ンガティ・オルディ小学校           | 50,000 円 |
| サーバシ・チャムアラブ学校          | 30,000 円 |
| ユネスコクラブ（クール・マジヤベル聾啞学校） | 30,000 円 |

(4) 減額にあたっては、すべての学校に趣旨を説明し、同時に自立の道を開くためのアイデアを募集しました。その結果、2016年3月現在で、ンジャウ・マリック小学校とバンプガール・マサンバ小学校から学校菜園作りの回答がありましたので、2016年度の支援計画の中で対応していく予定です。

(5) 新規支援校 ジム・モマール・ゲイ中学校に100,000円を送りました。

ジム・モマール・ゲイ中学校は、ディウフ会長の伯父（お父さんの兄）のジム・モマール・ゲイ氏の名前を冠した、同氏の出身地カオラックにある中学校です。ジム・モマール・ゲイ氏は、数か国でセネガル大使として活躍したあと、事業家としても名を成した方で、青少年の育成にも熱心でした。ディウフ会長も、ダカールのゲイ氏の家で高校時代を送りました。

↓ ジム・モマール・ゲイ中学校



↓ 校内に掲げられたモマール氏の写真



2. 2015年度は設備整備は行いませんでした。

3. アラサン・ゲイ君に松葉杖支援

アラサン・ゲイ君はンジャゴ小学校の生徒（2015~2016年度現在6年生）で、右足を失っています。バオバブの会では2012年に松葉杖を贈っていますが、古くなってしまったため、新しい松葉杖代、10,000Fca（約2,146円）を送りました。

4. 2014年度の支援による設備整備

(写真左) ユネスコクラブ校舎の屋根の補修 (写真中) バンプガール・マサンバ小学校のトイレ3基新設  
(写真右) ンガティ・ナウデ小学校の校舎入口の改修

